



進路決定の時期

来週、進路希望調査をもとに学校全体で進路会議を行います。進路希望について確認が必要な場合は、担任の先生から休み時間などに話をしますので、懇談までにもう一度志望校をしっかりと考えてください。

何度も伝えていますが、2学期末の個人懇談では、専願か併願かも含めて

私立受験校をコースも含めて決定します。公立特別選抜および高専受験校も

ほぼ決定です。決定した私立受験校を受験校確認書に記入してもらいます。

どうしても決まらない場合は、12月21日（木）個人懇談の最終日が最終日です。

【私立高校のコースの希望について】

高校は普通科の中に複数のコースが設置されている場合が多いです（特進コース、進学コースなど）。コースは、第1希望から順に複数のコースを希望することができます。第1希望コースが不合格であっても、第2希望のコースで合格する転コース合格（回し合格）という制度があります。複数のコースを希望する場合は、必ず転コース合格を希望して記入してください。

第1希望のコースは、‘一番行きたいコース’を記入してください。「とりあえず、第1希望は難しいコースから書いとけばよいか」などと安易に決めないでください。高校によっては、コースによりカリキュラムが違います。特進コースだけ7限目や土曜授業、放課後に補習授業があったり、国公立大学を目指して高3の受験前まで5教科の学習が必須であったりなどの違いがある場合があります。また、一番難しいコースは1クラスしか設定しておらず、3年間クラス替えが無い学校もあります。1番難しいコースで合格できても、入学後に勉強がとても難しく授業についていくのがしんどくなったり、もっと部活動をしたかったのに・・・と後悔する人がいます。

合格決定後にコースを変更することはできません。どのような高校生活を送りたいのかもよく考えたうえで、保護者の方と相談して希望するコースを決めてください。

【連絡】

- 3年の2学期評定は「1, 2学期の合計」です。
- 個人懇談で、「私立受験校確認書」を記入してもらいます。受験する学校名、学科(コース)名も正確に漢字で書けるようにしてきてください。
- 受験校の出願方法がweb出願かどうか懇談で聞きます。懇談前に自分の受験校の出願方法を必ず確認してください。また、面接があるかどうかも確認してください。
- 終業式の日、入試に面接試験がある人は「面接練習エントリーシート」を書いてもらいます。(学校名、コース名を記入します。)自分の志望校(公立高校も含む)に面接試験があるかどうかを必ず確認しておきましょう。エントリーシートを出さない人の面接練習はしません。
- 受験校の募集要項をもう一度しっかりと読んでおきましょう。出願関係、入試時間や科目、合格発表、手続き日時など、入試に必要なことが書いてあります。
- 他府県の高校を受験する場合は、調査書用紙を入手して担任の先生に渡してください。京都の私立高校で、京都統一様式を利用する学校(洛南、立命館、京都女子など)は、中学校で調査書用紙も用意します。

【公立一般選抜の志望校について】

公立一般選抜の受験校は2月末の個人懇談(3者)で決定します。1月に実施する第3回実力テスト、学年末評定、私立高校の合格コースなどの結果もふまえて決定していきます。